

2019(平成31)年度

黒潮町の一般会計当初予算は 98億1,800万円です

— 前年度比3.1%(3億1,093万9千円)の減額となりました —

※平成30年度当初予算は、政策的経費を基本的に含まない「骨格予算」でしたので、平成30年度6月議会提案後(肉付け予算)と比較しています。

一般会計の概要

平成31年度当初予算は黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、「一次産業の新規就業者の拡大と所得向上の取組み」「町外への消費活動流出防止の取組み」「移住者支援施策の着実な実行」「切れ目のない子育て支援」「健康寿命延伸の取組み」「小さな拠点」を活用した地域コミュニティ力向上の取組み」「ソフト面を中心とした防災対策の充実」「地域とともに生きる力をはぐくむ教育の充実」の8点を重点項目とし、住民ニーズに的確に対応できるように予算の計上を行っています。

黒潮町の平成31年度一般会計当初予算は、前年度比3.1%(3億1,093万9千円)減の98億1,800万円となっております。平成31年度は6年ぶりに100億円を切る予算となりました。また、11個の特別会計を加えて重複分を除いた純合計は97億6,491万8千円で2.9%(2億8,898万6千円)の減となっております。

一般会計では観光宿泊施設の建

設事業が議会で修正提案を受け、修正案可決となったため、当該予算の削除となりました。

自主財源の乏しい本町においては、最小の経費で最大の効果を得るため、限られた財源を有効活用し、行政サービスの向上に取り組みんでいかなければならないと考えています。

歳入

歳入は、町税8億5,731万9千円(前年度比4.0%増)など自主財源が28億9,481万7千円(構成比29.5%)、地方交付税39億円(前年度同額)など、依存財源は69億2,318万3千円(構成比70.5%)を見込んでいます。

町債は8億3,680万円(前年度比39.8%減)で、臨時財政対策債(赤字地方債)1億4,500万円、過疎対策事業債5億6,800万円、旧合併特例事業債1億5,700万円、緊急防災・減災事業債1億6,400万円などとなっております。平成31年度末の起債残高は130億7,567万2千円となる見込みです。

基金の繰入額は財政調整基金や

特目基金など11億5,269万6千円(前年度比23.0%増)を予定しており、平成31年度末の基金残高は42億9,574万5千円の見込みです。

歳出

歳出は、目的別では予算額の多い順に総務費23億5,419万9千円(前年度比1.0%増)、民生費22億6,720万6千円(前年度比0.6%減)、公債費13億6,223万8千円(前年度比5.9%増)で、上位3部門のみで全体の61.0%となっております。

性質別では、義務的経費が人件費15億3,208万9千円(前年度比1.1%増)、公債費13億6,223万8千円(前年度比5.9%増)、扶助費5億9,749万円(前年度比0.1%減)など34億9,181万7千円(構成比35.6%)を計画し、投資的経費は普通建設事業費16億2,039万2千円(前年度比25.7%減)など16億6,975万8千円(構成比17.0%)を予算計上しています。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその経費を明確にするため、一般会計と区分して設けられた会計です。

黒潮町では、一般会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて11の特別会計があります。



特別会計	住宅新築資金	300万5千円
	宮川奨学資金	1,944万2千円
	情報センター	2億7,435万7千円
	国民健康保険	18億8,487万3千円
	国民健康保険直診	8,438万1千円
	介護保険	17億501万3千円
	介護サービス	1,801万6千円
	農業集落排水	3,769万6千円
	漁業集落排水	540万8千円
	後期高齢者医療	2億931万6千円
	水道事業	2億6,685万円

平成31年度 8つの重点項目事業

◆ 一次産業の新規就業者の拡大と所得向上の取り組み

園芸用ハウス整備事業補助金	7,062万5千円
農業次世代人材投資資金「経営開始型」	2,400万円
施設レモン産地化支援事業	405万円
投石漁礁設置事業	1,485万円
新規漁業就業者支援事業	477万1千円
新漁業等挑戦促進事業	405万円
高性能林業機械整備	1,254万5千円
緑の雇用補助金	138万円

◆ 健康寿命延伸の取り組み

通所型短期集中運動機能向上サービス事業	973万円
シーサイドはだしマラソン	454万1千円
小さな拠点医療等相談事業	148万8千円
若者健康診査	47万円

◆ 「小さな拠点」を活用した地域コミュニティ力向上の取り組み

あったかふれあいセンター事業委託	4,200万円
旧佐賀保育所改修工事事業	1,376万7千円

◆ 町外への消費活動流出防止の取り組み

集客活動センター運営経費	1,799万5千円
--------------	-----------

◆ ソフト面を中心とした防災対策の充実

木造住宅耐震事業	2億4,078万9千円
告知端末整備事業	728万円
土砂災害対策支援業務委託	721万5千円
防災まちづくりプロジェクト事業	508万5千円
地区防災計画作成共同研究委託	423万5千円

◆ 移住者支援施策の着実な実行

定住促進住宅整備事業	1億3,986万円
地域おこし協力隊	2,905万5千円
地方創生移住支援事業補助金	300万円
出会いの場創出事業	79万1千円

◆ 地域とともに生きる力をはぐくむ教育の充実

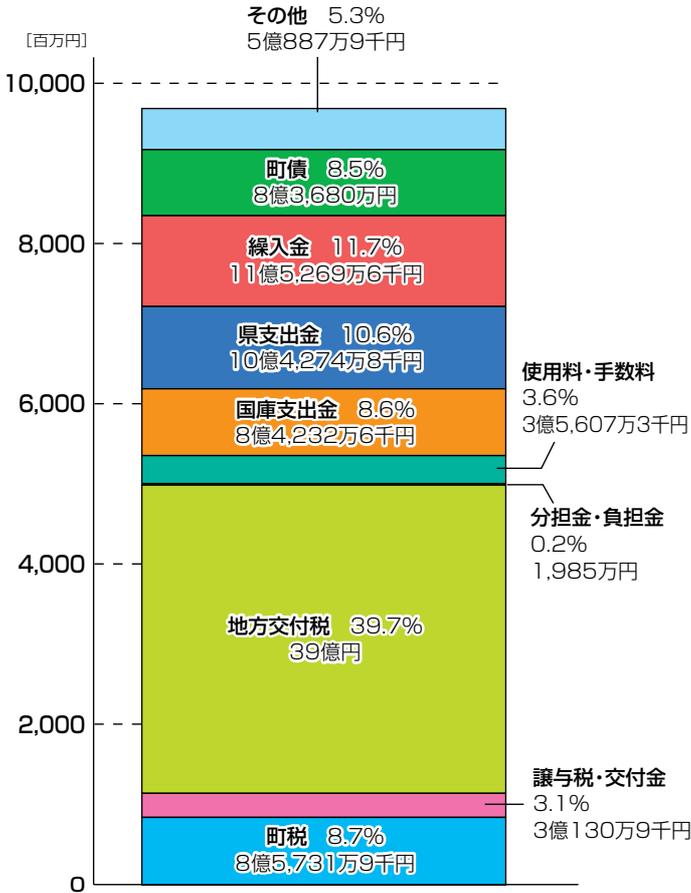
学校支援員配置事業(小・中学校)	1,929万9千円
放課後子ども教室推進事業	1,553万4千円
ふるさと・キャリア教育	450万4千円
外国語教育専門員配置事業	412万6千円
子ども見守りカメラ設置事業	120万円
防災教育	68万8千円

◆ 切れ目のない子育て支援

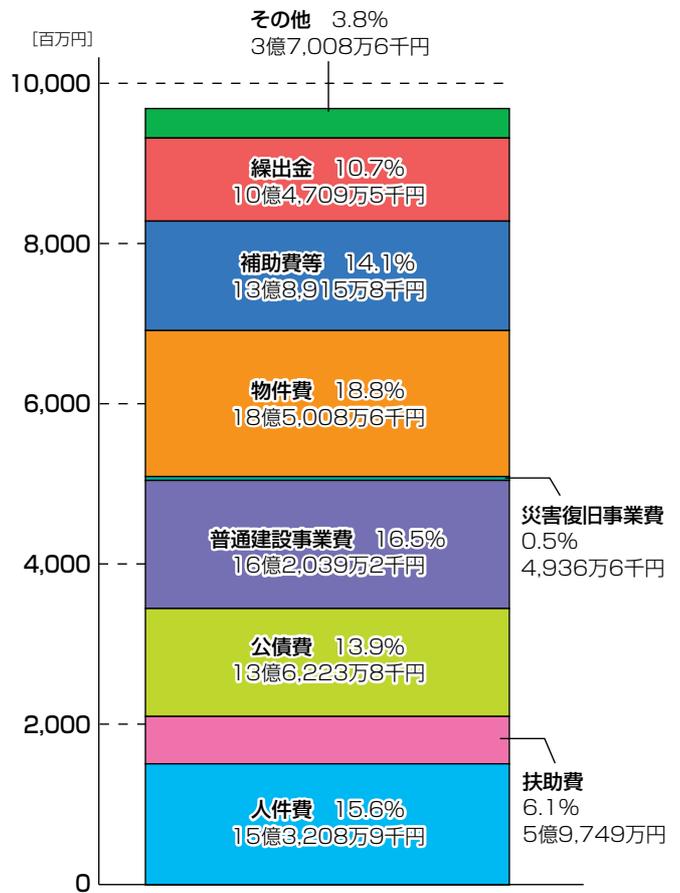
在宅子育て応援事業補助金	2,391万円
小中学生医療助成事業	1,674万円
乳幼児医療費補助金	1,152万円
子育て包括相談員	216万9千円
子ども子育て支援事業計画策定業務委託	170万円

平成31年度一般会計当初予算の内訳

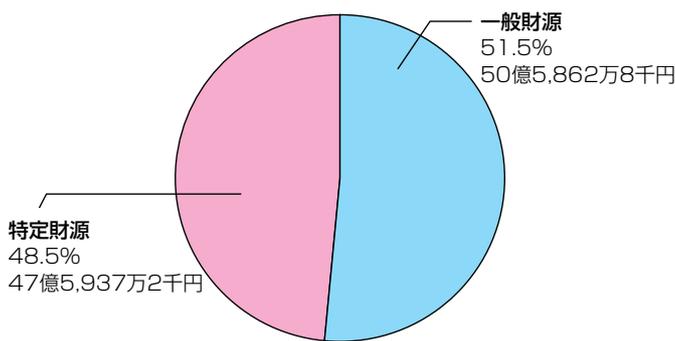
歳入



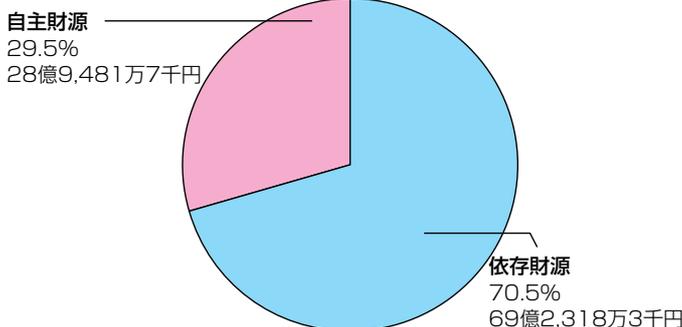
歳出(性質別)



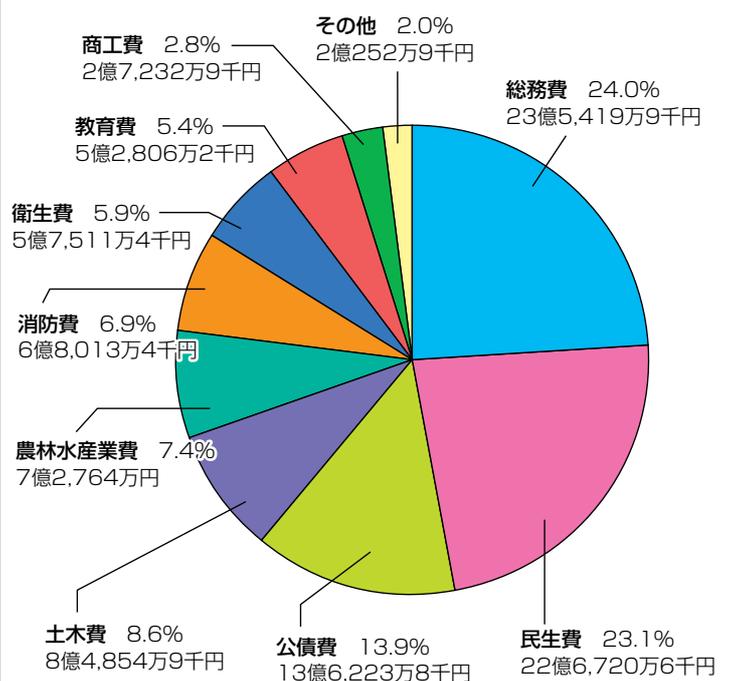
特定財源・一般財源の別



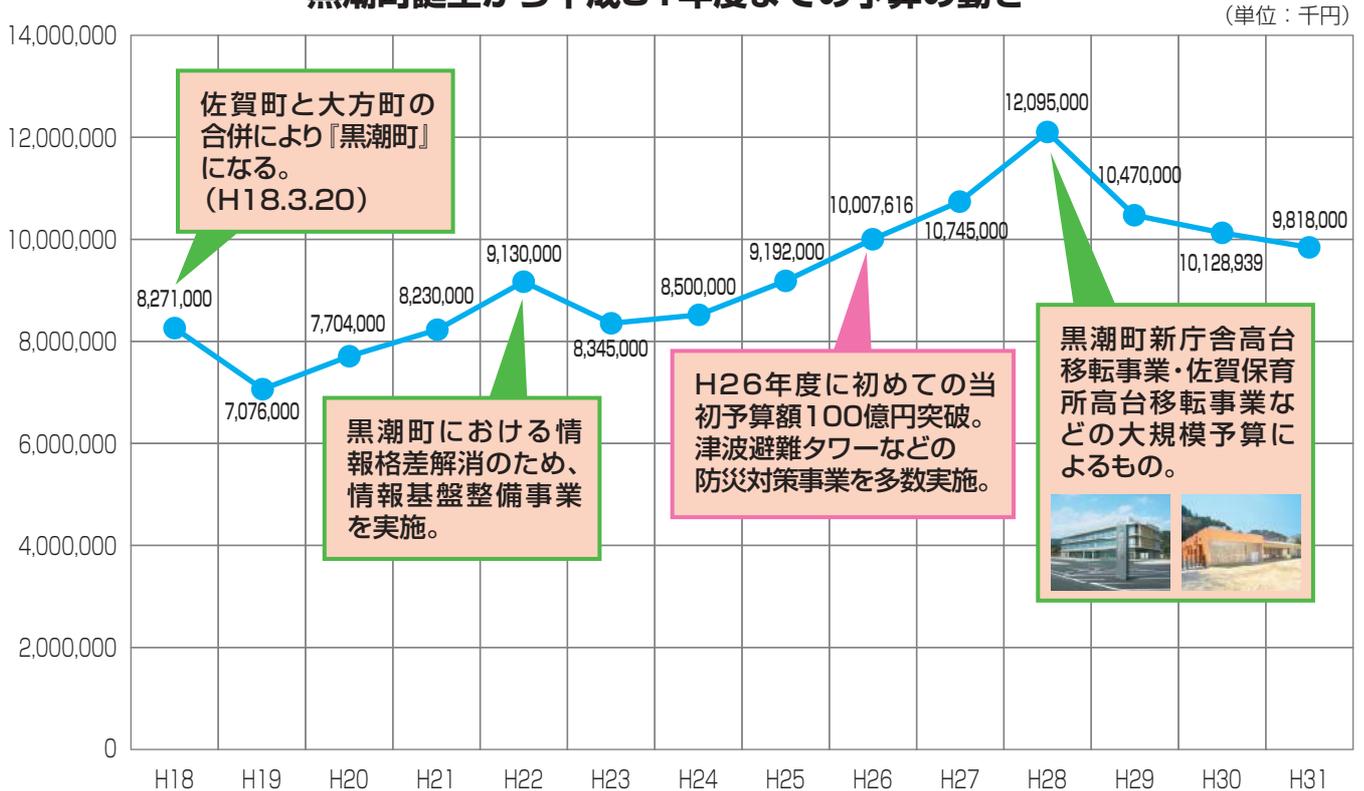
依存財源・自主財源の別



歳出(目的別)



黒潮町一般会計当初予算の推移について ～黒潮町誕生から平成31年度までの予算の動き～



※平成26、30年度当初予算は、政策的経費を基本的に含まない「骨格予算」でしたので、それぞれ6月議会提案後(肉付け予算)の予算と比較しています。

各年度における主な事業

- 平成18年度 まちづくり交付金事業
- 平成19年度 町道馬荷線改良事業
- 平成20年度 大方中央保育所建設事業
- 平成21年度 入野漁港整備事業
- 平成22年度 情報基盤整備事業
- 平成23年度 佐賀小・中学校校舎改修事業
- 平成24年度 黒潮消防署建設負担金
- 平成25年度 佐賀道の駅整備事業
- 平成26年度 津波避難路等整備事業
- 平成27年度 佐賀津波避難タワー整備事業
- 平成28年度 高校生サミット
- 平成29年度 黒潮町新庁舎高台移転事業
- 平成30年度 高規格道路整備事業

総務費

209,225円

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務。



平成31年度当初予算のうち、一般会計において町民1人あたりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口=町民1人あたり…

872,557円

※平成30年12月31日現在の人口で算出
(11,252人)



町民1人あたりの
予算の使い道



農林水産業費

64,668円

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



衛生費

51,112円

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



民生費

201,494円

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



消防費

60,446円

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



土木費

75,413円

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



商工費

24,203円

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



その他

17,999円

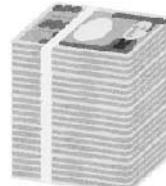
議会の運営経費や、災害復旧費にかかる経費などです。



公債費

121,066円

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



教育費

46,931円

小中学校の運営や、人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

